評価施策名	5 伝統文化を継承する	施策CD	25	施策主管課	社会教育課	課長名	岸本 薫
政策名	第2章 自然・文化・人を活かした郷を創る	-		施策関係課			

#### 【施策の概要】

○歴史文化遺産を市民共通の財産として保存、継承する。	目標項目(成果)	単位	H20		H21	H24
	口惊快口(从木)	丰区	目標値	実績値	目標値	目標値
	文化財登録数	件	148	148	148	15
	文化博物館・郷土資料館の年間入場者数	人	8,000	7,763	8,000	12,00
		1				+



## 1 南丹市の現状(課題)

- ○歴史文化遺産を、さまざまな調査を経て文化財として指定するなどの措置を講じている。 ○文化財については、保存と活用を併せて進める視点も、歴史文化の周知や観光振興の上 で大切であり、次の世代に保存、継承しなければならない。
- ○近年、国は登録文化財制度を進めており、南丹市でもこの制度を活用した取り組みを進め
- ○文化博物館、郷土資料館などで文化財関係資料の展示・公開を行うとともに、児童生徒、 市民や来訪者へ歴史文化を学ぶ機会を提供している。

・文化博物館・郷土資料館の年間入場者数 7,763人(平成20年)



## 3 それが何故おきたのか

○南丹市には、長い歴史の中で培われてきた多様な文化があり、次代に引き継がなければ ならない、

○市域には多くの指定文化財があり、それらの保護に必要な支援を行ってきた。中でも美山 地域の伝統的建造物群保存地区のかやぶき民家群は、多くの観光客が訪れている。



○長い歴史の中で培われてきた文化の継承ができない。



## 4 それらを解決するために何をするのか

- ・地域の歴史文化資料、伝統行事などの調査、収集
- ・国登録文化財制度の積極的な活用
- ・文化財の保護の推進
- ・歴史文化遺産の保存等の推進と支援の実施 ②財産を愛護し、次代へ引き継げるよう意識の向上を図る。
- ・遺産に対する市民の理解の向上
- ・教育に関する啓発の推進
- ・歴史文化に詳しい市民の協力
- ・民俗文化継承に関する支援
- ・遺産の観光活用
- ・遺産周辺の環境整備及び案内機能の強化

# 【施策コスト】(評価対象事業の合計)

	単位	H19決算	H20決算	H21予算	H22計画
決算額(計画額)	千円	64,380	51,856	50,023	47,811
職員給与費、共済費等	千円	9,682	8,668	11,813	0
財 使用料·手数料	千円	700	0	0	0
源 国·府支出金	千円	19,264	11,729	7,445	7,445
内地方債	千円	0	0	0	0
訳 一般財源	千円	44,416	40,127	42,578	40,366
職員従事人数	人·年	_	7.41	-	ı
人件費	千円	_	33,880	_	-
事業費総額	千円	_	77.068	_	_

**重業**夕(細重業夕)

【構成する事業】

会計CD	事業CD	争 <b>兼名</b> (細争兼名)	担当課	決算額(十円)
110505	6000	文化資料保全補助事業	社会教育課	1,133
110505	8000	重伝建地区保存修理補助事業	社会教育課	8,764
110505	10020	埋蔵文化財調査事業(発掘調査八木地区)	社会教育課	6,129
110505		文化財保護事業	社会教育課	1,772
110505	5000	文化財維持管理費	社会教育課	2,766
110505		文化財保護審議会運営費(文化財保護審議会運営費)	社会教育課	61
110504	7000	収蔵資料保存事業	社会教育課	652
110501	10020	史誌編さん事業(八木町史編さん事業)	社会教育課	7,885
110504		展示会事業	社会教育課	7,307
110504		調査研究事業	社会教育課	2,007
110505		文化財保護審議会運営費(伝統的建造物群保存地区審議会運営費)	社会教育課	88
110504		施設管理運営費	社会教育課	12,440
110504		資料購入費	社会教育課	818
110505	9000	重要文化財保存管理事業	社会教育課	34
		•		

# 【総合評価】

伝統文化を継承するためには文化財の保存とその継承、さらに活用も必要で、目標数値は定めに

くいが新たな登録も含め計画的・継続的な取り組みが必要。 博物館・資料館の入場者が目標を下回っており、市民の理解や意識の向上を図ることが必要。

②目標値や施策の考え方の見直し

歴史的資料の損壊・消滅の恐れに対しては早急な対応が急がれる。

博物館・資料館の目標値は入館数だけに留まらず、文化財を市民の財産として次代に引き継げる よう、啓発推進や歴史文化資料などの調査・収集などの目標も設定できないか。

# 【改善の方向性】

①今後の方向性

限られた期間や予算の中でより効率的な対応と文化財保護にかかる住民の理解と協力を深める。

過疎地域などでは祭礼などが後継者不足から消滅の危機に陥っている現状もあり、早急な調査も 必要。

※評価の結果と経過			